

引船使用基準（阪神港神戸区）

- (1) スラスタ非装備船に対する引船使用隻数・型の基準表 平成 19 年 11 月 1 日実施

| 本船（総トン数） | 引船の型および隻数 | 備 考 |
|-----------------------|----------------|--------------------------------------|
| 5,000 トン未満 | Ⅱ型 1 隻 | 専用船棧橋に着棧する時、又は 新総トン数所有の多層甲板船は 2 隻 |
| 5,000 トン～7,000 トン未満 | Ⅱ型 2 隻 | |
| 7,000 トン～10,000 トン未満 | Ⅱ型 2 隻 | |
| 10,000 トン～40,000 トン未満 | Ⅱ型 2 隻 | |
| 40,000 トン以上 | Ⅲ型 2 隻又はⅡ型 3 隻 | |

- (2) バウスラスタ装備船に対する引船使用隻数・型の基準表 平成 19 年 11 月 1 日実施

| 本船（総トン数） | B/T 能力 | | 引船の型及び隻数 |
|-----------------------|----------|----------|---------------|
| | PS | KW | |
| 5,000 トン未満 | 標準 400 | 標準 294 | Ⅱ型 1 隻 |
| 5,000 トン～7,000 トン未満 | 標準 600 | 標準 441 | Ⅱ型 1 隻 |
| 7,000 トン～15,000 トン未満 | 800 以上 | 588 以上 | Ⅱ型 1 隻 |
| | 800 未満 | 588 未満 | Ⅱ型 2 隻 |
| 15,000 トン～25,000 トン未満 | 1,000 以上 | 736 以上 | Ⅱ型 1 隻 |
| | 1,000 未満 | 736 未満 | Ⅱ型 2 隻 |
| 25,000 トン～45,000 トン未満 | 1,200 以上 | 833 以上 | Ⅲ型 1 隻 |
| | 1,200 未満 | 833 未満 | Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻 |
| 45,000 トン～75,000 トン未満 | 1,400 以上 | 1,030 以上 | Ⅲ型 1 隻 |
| | 1,400 未満 | 1,030 未満 | Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻 |
| 75,000 トン以上 | 2,000 以上 | 1,471 以上 | Ⅲ型 1 隻 |
| | 2,000 未満 | 1,471 未満 | Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻 |

*1 40,000 トン以上で船首、船尾にスラスタを装備する場合（B/T：バウスラスタ S/T：スターンスラスタ）

B/T 1,200PS 以上 S/T 1,000PS 以上の船： Ⅲ型 1 隻

B/T 1,200PS 未満 S/T 1,000PS 未満の船： Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻

*2 引船の型 Ⅱ型：2,000PS～3,000PS 未満 Ⅲ型：3,000PS～4,000PS 未満

(3) 阪神港神戸区への 14,000TEU 級コンテナ船の入出港時の安全対策

神戸港における船舶の航行安全検討調査報告書

平成 31 年 3 月 (神戸海難防止研究会)

| 平均風速 | 10m/sec 以下 | 10m/sec を超え 12m/sec 以下 |
|------|------------------------|--|
| 入港 | 3,600PS(2,648kW)以上×2 隻 | 3,600PS(2,648kW)以上×3 隻 (合計)10,000PS(7,355kW)以上) |
| 出港 | 3,600PS(2,648kW)以上×2 隻 | 3,600PS(2,648kW)以上×3 隻 (合計)10,000PS(7,355kW)以上) |

入出港に当たっては、上表に示すタグボートを配備することとし、そのときの風向、風速及びその変化の傾向、入港船のバウスラストの能力、入出港時間帯等を考慮して船長と水先人が協議のうえ必要に応じてタグボートの配備隻数または能力を増強する。

また、タグボート押し引き位置から 3 隻配備が難しいものもあることから、より大型馬力のタグボートを手配できる環境整備が望まれる。

(平成 31 年 4 月理事会)

(4) 特例としての曳船使用基準

① 神戸製鋼 K S - 3 (平成 16 年 4 月 12 日)

総トン数 50,000 トン以上

ドラフトに関係なく

入港時 III型 2 隻 + II型 1 隻

出港時 III型 2 隻